

G132		科学の歴史	
英名科目名	History of Science		
大学名	京都先端科学大学		
連絡先	教務センター（京都太秦キャンパス） TEL：075-406-9123		
担当教員	山下 勤（経済経営学部・経営学科教授）		
開講期間	2021年09月20日(月)～2022年01月17日(月) 3講時 12時40分～14時10分(毎週月曜日) 2021/09/20(月・祝) 敬老の日は授業あり 2021/12/23(木)～2022/1/10(月)は授業なし		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	月曜日 3講時
単位数	2	履修年次	
会場	京都太秦キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	授業内小テスト等による授業理解度（30%） 定期試験（70%） 評価方法の詳細は逐次授業内で説明する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科14,000円（初回登録時に登録料として30,000円 が別途必要）聴10,000円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	受講条件・受講のルール・学修上の助言など： 授業中はスマートフォンや携帯電話等の電源を切ること。 私語や飲食は禁止する。 感染症対策などのため、授業の方法や内容、また成績評価方法を一部変更することもあり得る。その際にはなるべく事前に受講生に通知することとする。		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p><b>【講義概要】</b> 「科学の歴史」を理解することを通じて、自然科学に限らず社会科学や人文科学など、多様な領域における「科学」と「技術」について認識を深め、今後の科学と技術のあるべき姿について考究する。この授業では、まず「科学とは何か?」「技術とは何か?」について歴史的な観点から理解を深めた後、さまざまな分野の科学の発展経過を概観し、さらに現代の科学者や技術者、また医療者の社会的責任について考察する。具体的には、歴史的な様々な事例を通じて、科学と技術の現代社会におけるあり方について自ら考える力を養う。</p> <p><b>【到達目標】</b> 「科学」とは何かについて、歴史的な事実を踏まえて説明できるようになる。 「科学」と「技術」の違いや、それぞれの現代社会における意義と問題点について説明できるようになる。 科学者や技術者の社会的責任について説明できるようになる。</p>			
講義スケジュール			
<p>第01回 授業ガイダンス、科学とは何か 教育方法 講義法 授業外学修 予習：この授業のシラバスを読み、内容を理解すること 復習：学習を振り返り、「科学」とは何かを考察する</p> <p>第02回 技術とは何か 教育方法 講義法 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し</p> <p>第03回 古代文明と科学</p>			

教育方法 講義法 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し
第04回 科学の始まり 教育方法 講義法 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し
第05回 古代ギリシャの文化と科学 教育方法 講義法 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し
第06回 中世ヨーロッパの文化と科学 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し
第07回 イスラーム文化と科学 教育方法 講義法 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し
第08回 近代科学の始まり 教育方法 講義法 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し
第09回 医学の歴史 教育方法 講義法 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し
第10回 生物学の歴史 教育方法 講義法 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し
第11回 戦争と科学 教育方法 講義法 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し
第12回 科学者の社会的責任 教育方法 講義法 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し
第13回 分子生物学とバイオテクノロジー 教育方法 講義法 授業外学修 予習：指示資料の読解 復習：前回の授業内容見直し
第14回 コンピューターとインターネット 教育方法 講義法 授業外学修

予習：指示資料の読解  
復習：前回の授業内容見直し

第15回  
ビッグデータと人工知能  
教育方法 講義法  
授業外学修  
予習：指示資料の読解  
復習：前回の授業内容見直し

教科書	教科書は指定しないが、講義中に参考資料などを適宜提示する。
参考書	講義中に参考資料などを適宜提示する。